

イネ科通信 25

ヤクナガイヌムギとイヌムギ・その他

2013/06/23



ヤクナガイヌムギ (スズメノチャヒキ属)

都市近郊の路傍に多い帰化植物。1～2年草。葉舌は三角形。花期4～6月。小花は5～9からなる。閉鎖化は少なく、黄褐色の葯が下垂する。内穎は護穎より僅かに短い。芒はイヌムギよりも長いのですが成熟したものを比較しないと同定ミスをします。

イヌムギ(スズメノチャヒキ属)

平地の農耕地や路傍の草地に広く帰化する多年草。花期は5～8月。小花は6～10からなる。葉舌の形はヤクナガイヌムギのように明確に表現できない。閉鎖花で葯は0.5mm、内穎の長さは護穎の約1/2。



ワイルドオーツ

園芸店で販売している草本に北アメリカ原産のワイルドオーツがあります。(左の写真)
学名：Chamsmanthium latifolium
イヌムギの仲間??花期は7～8月です。
果実(穎果)は9～11月に稔ります。日向を好み、暑さにも寒さにも強いので育てやすい。
多年草(宿根草)。写真はインターネットから引用。別名：西洋小判草、宿根小判草。



コバンソウ (コバンソウ属)

ワイルドオーツの別名(宿根小判草)から連想でコバンソウについて記してみます。
地中海原産、観賞用としてされ、野草化したものです。小穂は扁平、小穂には長い柄があり垂れ下がります。左の写真をご覧ください。8～18小花よりなり、護穎は永存性。花期は5～7月。花壇用またはドライフラワー用として植えられたため世界的に広がっています。